動物看護総合実習ポートフォリオ

（実習記録）

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名・学科名 |  |
| 学　籍　番　号 |  |
| 氏　　　　　名 |  |

■作成にあたっての留意事項

ポートフォリオとは学習歴やスキル、実績を実証するための成果を相手に伝えるために、目的に沿って収集し、ファイリングされた作品集といえます。いわば自分を表現するための一種のツールと考えてください。このポートフォリオを基に評価がなされますので、下記の点に留意しながら作成を心がけてください。

1. 目　　的

実習生は作成したポートフォリオを振り返る事で、これまでの実習にどのように取り組んできたのかを振り返り、そうして発見したことを今後の取り組みに活すよう努力する事。

1. 事前準備

実習生はポートフォリオ作成にあたり、まず各実習におけるゴールシートを完成する事。ゴールシートは、学習履歴チェック・自己分析を行った後に、まず目的（自身がどうなりたいのかという願い）を設定し、次に目標（実習のテーマとして習得したいスキルや項目）を設定する事。

目標を達成するための具体的な行動計画を設定する事。

1. 収　　集

記入または収集する学習の成果物としては、指導をうけた実例や飼い主との会話（エピソード）やオリエンテーションで受けた動物病院の概要や実習内容・業務に関したプリントやメモ類、実習先からの配布物や資料、関連した新聞記事やレポート、許可された画像等（エビデンス）が挙げられるが、外部から入手したものだけではなく自身が感じたことや浮かんだアイディア等も記載する事。

1. 記　　載

これらの収集物は、必ず時系列事に記載し必ず日時を記入する事。

重要だと感じた部分は後で判別できるようにしておく事。

実習終了後に落ち着いた環境の中で振り返りと共に作成を行う事。

1. 振り返り

完成されたポートフォリオを活用し、発表（プレゼンテーション）や達成された事項や次期課題設定が容易にできるよう整理を行う事。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以　上

**■動物看護総合実習ポートフォリオ　ゴールシート**

目指す動物看護師像

信頼される動物看護師

（理由）

信頼されないと仕事を任せてもらえないから。

飼い主様と信頼関係がうまく構築できればエデュケーションが成功し、幸せな動物を増やせると思うから。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 具体的な目標 | 目標達成度 | 維持・向上のための対策 |
| 例）  ・身だしなみを整える  ・挨拶を自ら元気に行う  ・報告をおこなう | 100％  70％  （初対面の人へは躊躇してしまった）  80％  （忘れていたわけではないが、指示者が望むタイミングでできなかった。） | 実習の取り組み前には鏡の前で確認する  初対面の人へはまずは自主的な声かけを目標とする。  相手が望む報告のタイミングを確認し、確実に行うようにする。 |

■具体的な計画表

（動物看護総合実習の目的と目標等を参照しながら自分自身の行動計画や目標を具体的に記入してください）

|  |
| --- |
| （実習前）  （実習前半）  （実習後半） |

■実習ポートフォリオ（記録）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 月　　　日（　　） | | | | |
| 時　間 | 活動内容 | | 思考と考察 | |
|  |  | |  | |
| 月　　　日（　　）　**評　価** | | | | |
| **成果/達成できたこと** | | **改善点** | | **改善への取組** |
| 指導者助言  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当者　　印 | | | | |

|  |
| --- |
| 実習のエビデンスとエピソード |
|  |